



モバイル利用のライフスタイル（４） —シニアのスマートフォン所有における関与２—

- 水野 一成 (株式会社NTTドコモ モバイル社会研究所)
- 近藤 勢津子 (株式会社NTTドコモ モバイル社会研究所)
- 飽戸 弘 (東京大学名誉教授)

分析手法

数量化理論第2類

分析流れ（ステップワイズ）

1. 説明変数を「基本属性」
2. 説明変数を「基本属性」+「ICT利活用」
3. 説明変数を「基本属性」+「ICT利活用」+「ライフスタイル」

分析の考察

1. 判別グラフ 軸の解釈
2. 偏相関係数の大小及びカテゴリースコアより特性を明らかにする

目的変数：スマホの関与

【1群】混在【2群】積極【3群】実用【4群】消極

説明変数	尺度
①性別	1 男性 2 女性
②経済的ゆとり	1 ある 2 ある程度ある 3 あまりない 4 ない
③時間的ゆとり	1 ある 2 ある程度ある 3 あまりない 4 ない
④年代	1 60代前半 2 60代後半 3 70代前半 4 70代後半
⑤職業	1 正規 2 非正規 3 自営 4 主婦主夫 5 無職
⑥家族	1 同居有 2 同居無
⑦都市区分	1 特例・政令 2 20万人以上 3 10万人以上 4 10万人未満
⑧パソコンの所有	1 有 2 無
⑨スマホ保有期間	1 2年未満 2 5年未満 3 5年以上 4 覚えていない
⑩イノベータ得点	1 高得点 2 中得点 3 低得点

目的変数との相関

アイテム名	クラメールの連関係数
スマホ所有時期	0.15
都市規模	0.11
イノベータ得点	0.16
経済的ゆとり	0.11
職業	0.11
時間的ゆとり	0.09
年代	0.13
パソコン所有	0.17
性別	0.08
家族	0.09

Step1 説明変数 1.性別 2.年代 3.家族

判別の中率及び相関比は低い

判別的的中率 39.1%

1軸

平均と標準偏差（群別）

	平均	分散	標準偏差
群1混合	0.074	0.810	0.900
群2積極	0.188	0.938	0.969
群3実用	0.248	1.174	1.083
群4消極	-0.269	0.911	0.955
全体	0.000	1.000	1.000

2軸

平均と標準偏差（群別）

	平均	分散	標準偏差
群1混合	0.203	1.219	1.104
群2積極	-0.033	1.013	1.006
群3実用	-0.121	0.772	0.879
群4消極	-0.042	0.958	0.979
全体	0.000	1.000	1.000

3軸

平均と標準偏差（群別）

	平均	分散	標準偏差
群1混合	-0.022	1.001	1.001
群2積極	0.136	1.129	1.063
群3実用	-0.062	0.988	0.994
群4消極	-0.001	0.946	0.973
全体	0.000	1.000	1.000

1軸:相関比 0.22

2軸:相関比 0.12

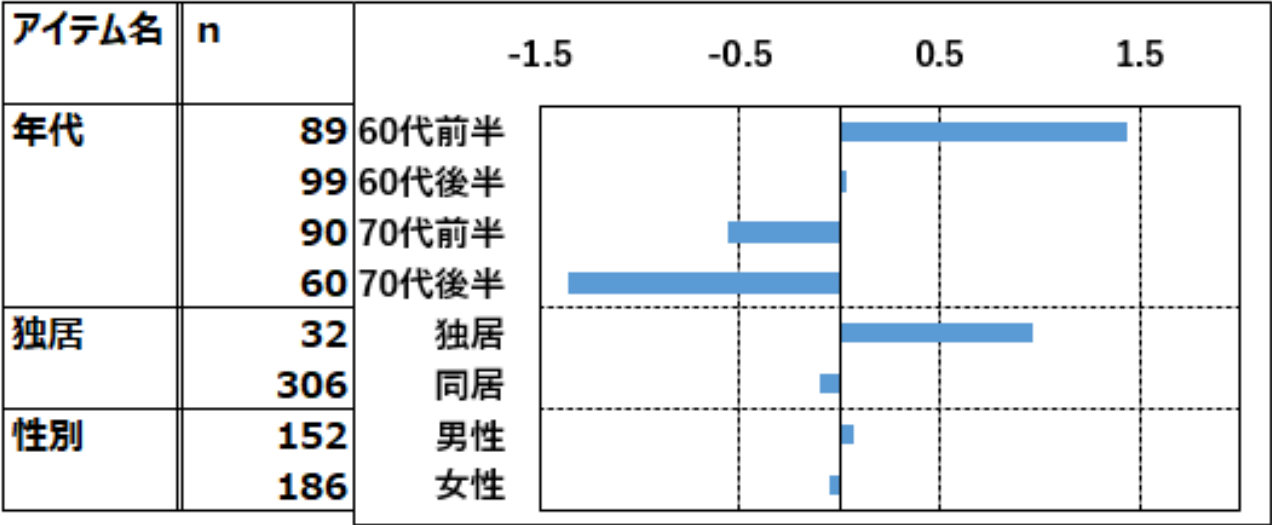
3軸:相関比 0.06

年代が比較的影響が大きい

レンジ・目的変数とアイテムの相関係数
1軸

アイテム名	レンジ		偏相関係数	
年代	2.789	1位	0.21	1位
独居	1.067	2位	0.07	2位
性別	0.116	3位	0.01	3位

モデル式消極<>積極



Step2:説明変数 step1+4.パソコン所有 5.スマホ所有時期

判別的中率及び相関比は低い

判別的中率 44.4%

1軸

2軸

3軸

平均と標準偏差（群別）

平均と標準偏差（群別）

平均と標準偏差（群別）

	平均	分散	標準偏差
群1混合	0.053	0.847	0.920
群2積極	-0.552	0.798	0.893
群3実用	-0.172	0.885	0.941
群4消極	0.285	1.025	1.012
全体	0.000	1.000	1.000

	平均	分散	標準偏差
群1混合	0.144	0.903	0.950
群2積極	-0.281	1.099	1.048
群3実用	0.254	1.095	1.046
群4消極	-0.135	0.864	0.930
全体	0.000	1.000	1.000

	平均	分散	標準偏差
群1混合	-0.215	1.145	1.070
群2積極	-0.033	1.023	1.011
群3実用	0.152	0.736	0.858
群4消極	0.056	1.013	1.007
全体	0.000	1.000	1.000

1軸:相関比 0.29

2軸:相関比 0.20

3軸:相関比 0.13

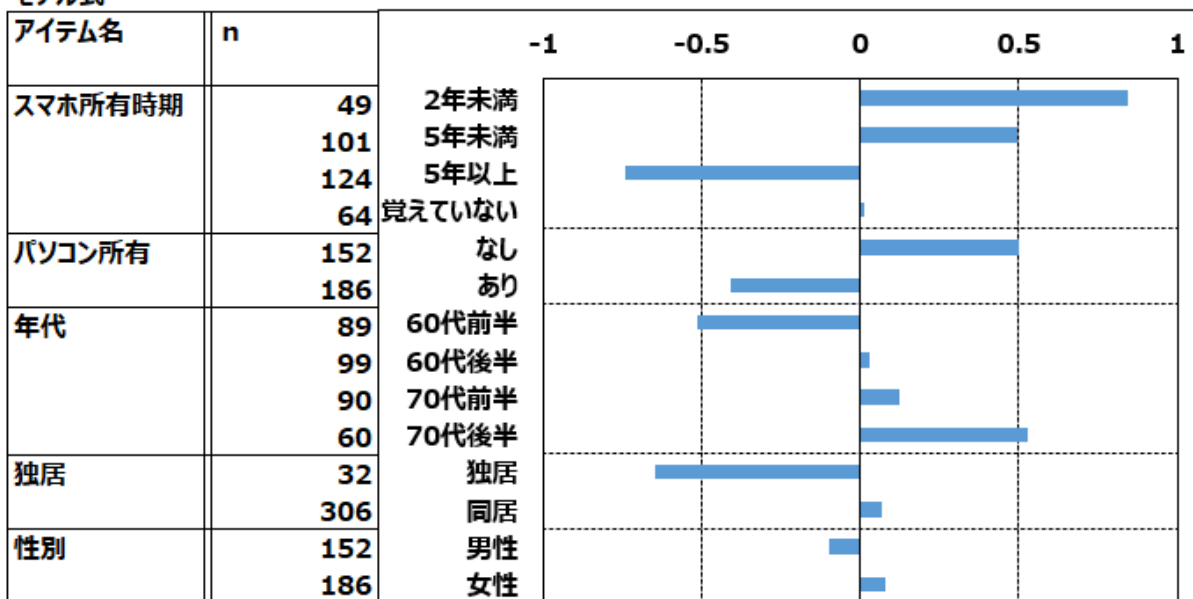
レンジ・目的変数とアイテムの相関係数

1軸

アイテム名	レンジ		偏相関係数	
スマホ所有	1.583	1位	0.173	1位
パソコン所有	0.911	3位	0.129	2位
年代	1.042	2位	0.099	3位
独居	0.712	4位	0.061	4位
性別	0.175	5位	0.026	5位

積極<>消極

モデル式



Step3: 説明変数 step1・2 + 6.時間的ゆとり 7.経済的ゆとり 8.イノベータ得点 9. 職業 10.都市区分

判別的的中率 75.7%

1軸

平均と標準偏差（群別）

	平均	分散	標準偏差
群1混合	0.197	0.750	0.866
群2積極	-0.722	0.796	0.892
群3実用	-0.265	0.916	0.957
群4消極	0.316	0.918	0.958
全体	0.000	1.000	1.000

2軸

平均と標準偏差（群別）

	平均	分散	標準偏差
群1混合	-0.070	1.101	1.049
群2積極	0.396	0.972	0.986
群3実用	-0.438	0.907	0.952
群4消極	0.156	0.800	0.894
全体	0.000	1.000	1.000

3軸

平均と標準偏差（群別）

	平均	分散	標準偏差
群1混合	0.444	0.994	0.997
群2積極	0.057	1.035	1.018
群3実用	-0.160	0.968	0.984
群4消極	-0.204	0.827	0.909
全体	0.000	1.000	1.000

積極と消極を分ける

実用と積極を分ける

消極と混在を分ける

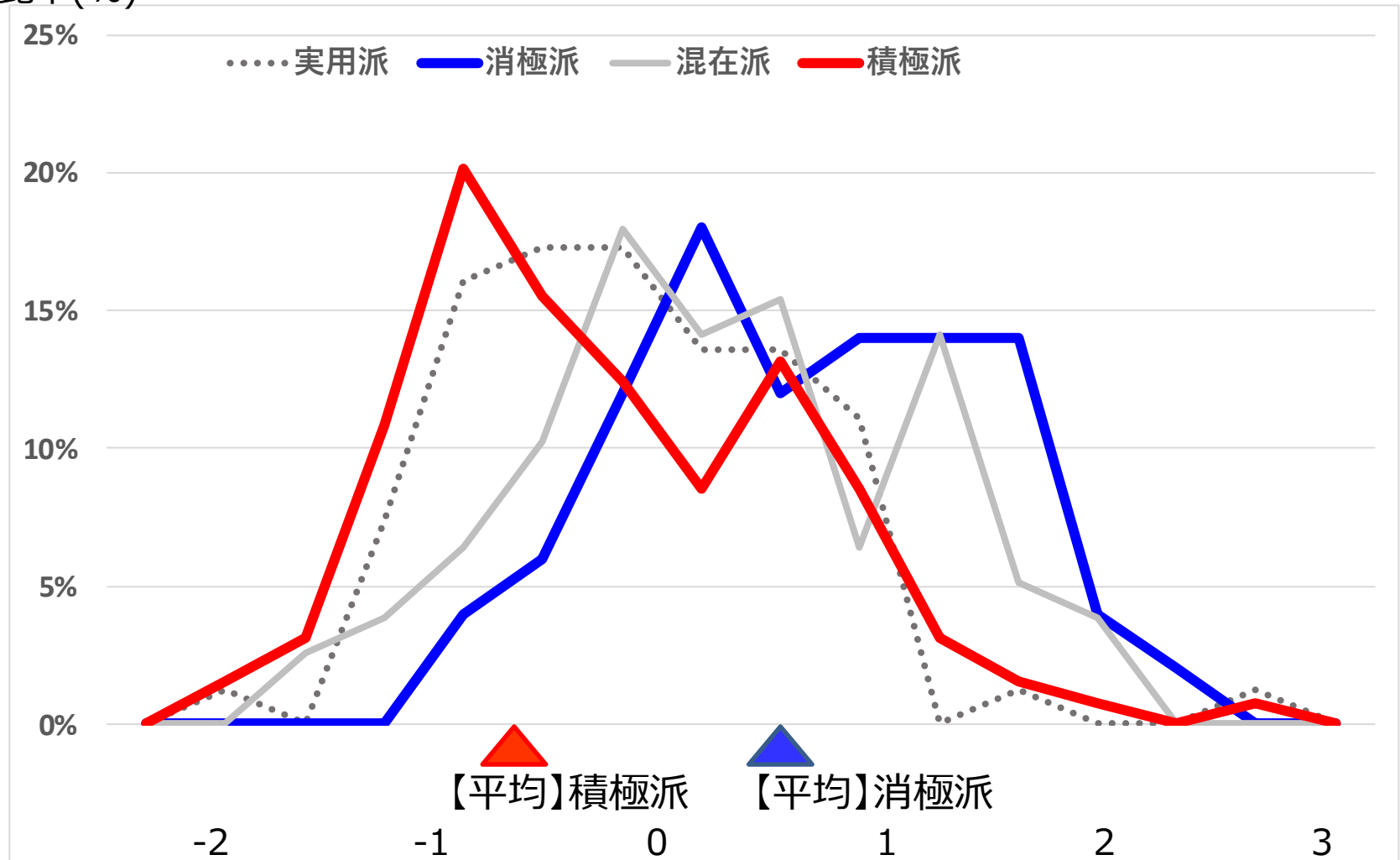
1軸:相関比 0.29

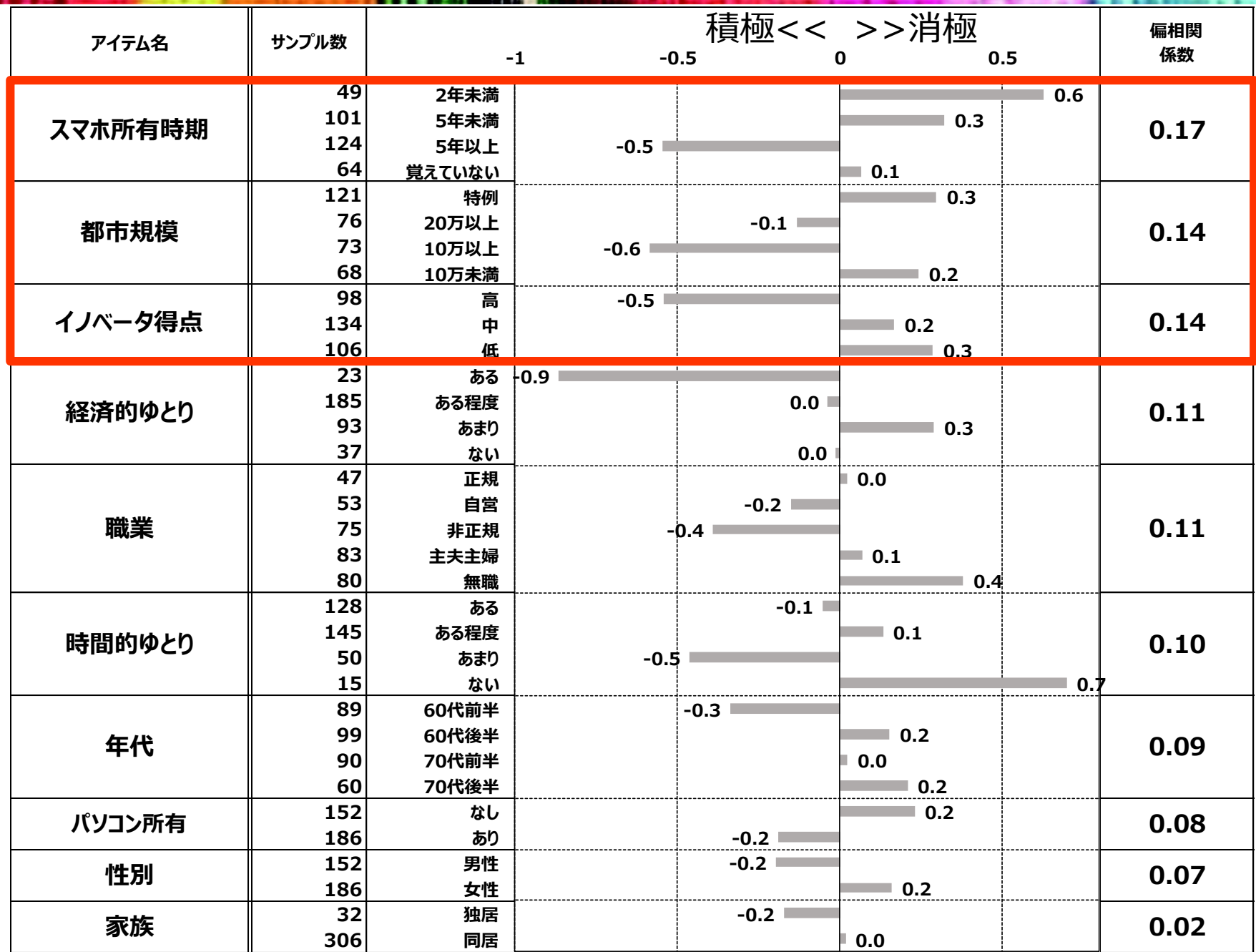
2軸:相関比 0.20

3軸:相関比 0.13

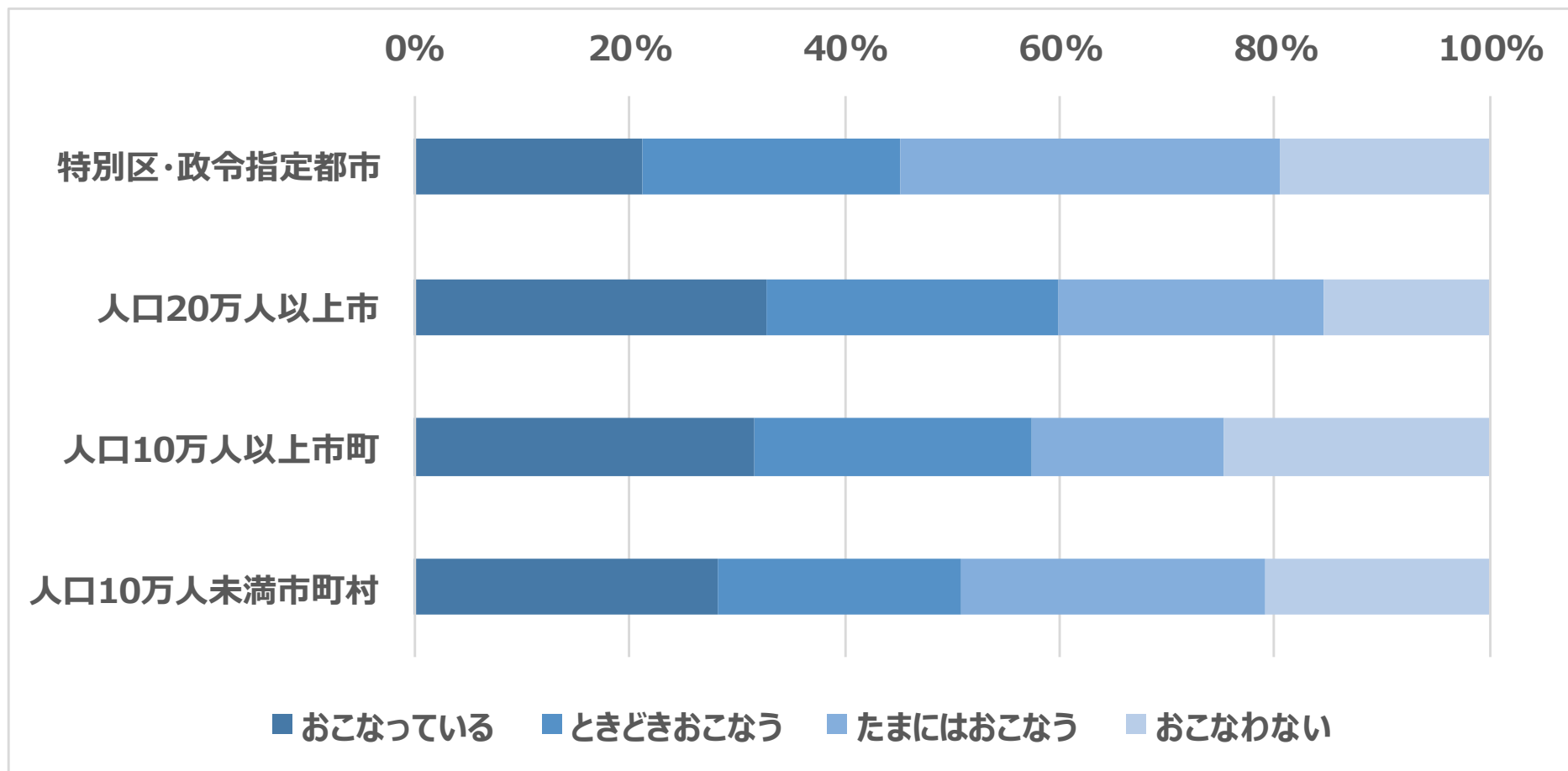
1軸は2群「積極派」と4群「消極派」を分けている

構成比率(%)





知人・友人との交流は中規模都市が高い傾向



シニアのスマホの関与

スマホ所有期間

2年未満・・・消極派
5年以上前・・・積極派

都市規模 中規模都市・・・積極派
大都市・小規模都市・・・消極派

性別、家族構成、パソコン所有では影響は少ない

本結果を通じて

本稿では、スマートフォンを所有したシニアの関与について、
クラスタ分け、またクラスタの特性を明らかにしてきた。

スマホ所有期間が短いシニアはスマホの関与「消極派」であり、
今後さらに所有が拡大した際「消極派」が増えることが懸念される

今後もシニアがスマホを持ち、より豊かな生活に寄与できるように、
何が必要とされるか、調査研究を続けていきたい